

今回のインタビューは、第55回全日本吹奏楽コンクールで銅賞を受賞された、広島国際学院高等学校吹奏楽部の顧問、中島洋治先生にお聞きしました。

聞き手 渡辺 善隆 委員



人を思いやる心で美しいハーモニーが

広島国際学院高等学校吹奏楽部顧問

なかしま
中島

ようじ
洋治さん

吹奏楽部は、いつ頃からあるのですか？

現 在の吹奏楽部ができたのは、昭和五十五年(1980年)に部員八名で創部されました。ただ、昭和三十四年に県学校吹奏楽部連盟が結成され、翌年の昭和三十五年十月二十三日に高等学校吹奏楽連盟記念演奏会に於いて、出演団体十三団体中、十二番目に演奏した記録が残っていますので、昭和四十年代後半までは、吹奏楽部が存在していません。

どのような活動をされていますか？

学 校行事(入学式・体育祭・野球応援・オープンスクール・文化祭・卒業式等)を初めとして、コンクールや吹奏楽まつり、高等学校総合文化祭などの各大会や、県内の小・中学校等で音楽鑑賞会を開いたり、海田町のふれあいコンサートに参加したりと年間約三十回〜三十五回程度の多彩な演奏活動を行っています。そんな中でも、最大のイベントは、毎年六月の第二日曜日に「広島厚生年金会館ホール」で開催しています本校吹奏楽部の定期演奏会です。

指導するにあたって、一番大切にされていることは、どんなことですか？

音 楽教育の前に人間教育があり、それを一番大切に

することが、基本であると思います。中でも「人を思いやる心」がなければ、美しいハーモニーは生まれません。また、「素直な態度」や「感謝の心」を持つことが、部活動をする上で、大切なことだと思います。

実際に、生徒達は全国大会でどんなことを学んだと言っていますか？

個 々の力より、保護者の皆様を含め、「多くの人たちの支えがあつてこそ、成し遂げることができた」ことを学んだと思います。また、全国から集まった二十九団体の演奏のすばらしさにも感動したと思います。

最後に、吹奏楽部のPRも兼ねて、一言お願いします。

〇〇八年六月八日(日)に本校吹奏楽部第二十回の定期演奏会を広島厚生年金会館ホールで開催いたします。今年度は、節目の二十回記念として、色々なイベントを考えています。いつも海田町の皆様には、ふれあいコンサートでお世話になっていますが、是非、足をお運びいただければと思います。

本日は、お忙しい中、本当にありがとうございました。ますますのご活躍を願っています。

